

2018年度 アジア共生学会の 専門家が語るアジア理解講座

主催：アジア共生学会

共催：八幡西図書館、八幡図書館、NPO 法人市民塾 21

テーマ：「アジアの生活と文化」

第1回 10月7日（日）10時30分～12時（八幡西図書館）北村真知子氏

第2回 11月4日（日）10時30分～12時（八幡図書館）青木美樹氏

第3回 12月2日（日）10時30分～12時（八幡西図書館）中村芳生氏

場所：北九州市立八幡西図書館 1F・セミナールーム

Tel：642-1186

北九州市立八幡図書館 2F・会議室

Tel：671-1123

各回定員 30 名。先着順で定員になり次第、締め切ります。

※本事業に関する問合せおよび申し込み先

アジア共生学会事務局（Tel & Fax：662-8319、事務局長：男澤）

E-mail：ozawa@cb.kiu.ac.jp

参加費無料

ご参加をお待ちしています

■北村真知子氏（国際薬膳調理師）

「アジアで生まれた「薬膳」

人生 100 年時代を迎えると云われ、食と健康に一段と関心が高まる昨今、東洋の栄養学と云われる薬膳が注目されています。東洋医学の理論に基づいて考えられた、体内バランスの乱れを食で整え、病気を予防し、症状を改善する健康料理である薬膳。今、何故東洋医学であり、薬膳なのか、薬膳とは何かを考えてみたいと思います。

■青木美樹氏（九州国際大学教授）

「台湾の生活と文化」

台北駐日経済文化代表処は日本の「一般社団法人中央調査社」に委託し、2017 年 11 月に日本人の台湾に対する意識調査を行った結果、前年とほぼ同様の傾向が見られた。半数以上の人々が、台湾に親しみを感じ、信頼でき、双方の関係は良好であり、今後も発展していくなどの回答をした。一方、台湾側は日本によい印象をもち、日本に対して親日的と言われている。

■中村芳生氏（中村学園大学准教授）

「ASEAN の大国インドネシアを知る」

ここ数年、日本企業の進出先として中国に代わり ASEAN が注目されている。その ASEAN の中で、面積も人口もいずれも約 4 割を占め、最大を誇るのがインドネシアである。今年は、インドネシアと日本が国交を樹立して 60 周年にあたる。インドネシアといえば、石油、木材、マグロ、エビ・・・と、天然資源の豊富な国というイメージが強い。この ASEAN の大国について、経済的な側面だけでなく、歴史、文化なども含めて、広く紹介をしたい。

